

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	宝塚市立子ども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年11月18日		～ 2025年12月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 55
○従業者評価実施期間	2026年1月14日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 26
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	朝のミーティング時に保育内容等の確認をし、安全面に配慮してスペース確保の調整をしています。子どもの興味が分散するように遊具を組んだり、2グループに分けて活動するなどの工夫をしています。	保護者からの意見を聞きながら、引き続き実施します。
2	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっており、また、こども達の活動に合わせた空間となっている。	毎日実施前後には清掃を行い、清潔な環境で療育できるよう心がけています、また、必要な個所は順次修繕等を行っています。	保護者からの意見を聞きながら、必要なものは買い揃え、引き続き実施します。
3	職員の配置数	人員配置基準を上回る職員を配置しています。担任以外に介助員も配置し、子どもたち1人1人をしっかり見えています。	引き続き職員数を確保し、朝のミーティング時に保育内容等の確認をして、より良い療育に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行っていない。	第三者による外部評価は必要に応じて実施を検討するが、常時必要とは考えていない。	第三者による外部評価は実施していませんが、市の部局の一つとして、事務事業評価を実施しており、今後もその枠組みの中で業務改善を行っていきます。
2	きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援ができていない。	きょうだい支援に対応する職員の確保。	クラス懇談会や保護者勉強会等で保護者の方向士が、話し合う機会をできる限り設けるように努め、きょうだい支援について今後の取り組みを検討する。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていない。	用紙でのご案内はしているものの、個人情報に注意が必要であり、ホームページやSNSでの発信力が弱い。	今後は個人情報の取り扱いには十分に注意し、担当者と更新時期を決めて、可能な限り発信します。